

特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧																																		
【令和4年度】																																		
番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容							再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1								特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況						
					特定開発 事業を 行う区域 の面積 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	その他								変更届	完了届等											
						様番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考	太陽光発電 定格出力 (kW)	太陽熱利用	風力発電	バイオマス 発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	潜熱回収型給湯器							LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※2				
001	横須賀市立総合 医療センター	横須賀市神明町 1番8	横須賀市長 上地 光明	本事業は都市公園法に規定する街区公園である神明公園の一部を廃止し、市立病院の敷地とするものであり、道路・車両の発生に備える目的で盛土を行うものである。	19,876.24	計画建物1	病院	38,151.98	建築面積：7823.02㎡ 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上7階、地下0階	・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・ガスジョーネレーションシステムを導入した。 ・LED照明設備を導入した。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利用設備（空冷ヒートポンプモジュール）を導入した。	・横須賀市適正な土地利用の調整に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を図った。（13%、2700.66㎡の緑地面積を確保）。 ・マテバシイ、ヒメユズリハ、タブノキ等で目影の形成を図った。 ・排熱量の少ない排熱投入型ガス焚火取次式暖房を導入した。 ・7階上で排熱を行った。 ・公園から連続した歩行者空間等により風の道を確保した。	・駐輪場、バイク置場4ヶ所設置。 ・利用者用駐車場165台、車検予利用者用駐車場5台、サービス・病院用駐車場15台設置。 ・緊急車両用駐車場を確保。 ・電気自動車用充電設備（普通充電設備）を整備した。（再掲） ・渋滞緩和を考慮し敷地内に溜まりスペースを設け開発区域とその周辺地域の交通を考慮した交通計画を作成し、歩行者空間に配慮し、排熱設備を設置した。 ・段差解消、注意喚起ブロックを整備し、歩きやすく快適な歩道とした。	・既存樹木（シラカシ）の保全を行った。 ・外構緑化指数が10%以上、かつ中高木を植栽した。 ・横須賀市適正な土地利用の調整に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を図った。（13%、2700.66㎡の緑地面積を確保）。（再掲）	・路盤材等、グリーン購入法建材を積極的に活用した。	△										●	●コージェネ	・様番号1 総合評価 ★★B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 90%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア3以上	・計画建物1 総合評価 B+ 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 99% ヒートアイランド現象の緩和 スコア3	2022/9/1	2024/11/14	2024/10/3 事業名称 建築面積 延床面積 措置の内容	2024/10/8		
002	相洋産業株式会社 新工場新築工事	小田原市堀之内 字塚田28番1、31番4、32番9、32番11、32番13、41番13、46番8 小田原市中曽根字堂免84番1	相洋産業株式会社 代表取締役 内田 治光	昭和47年1月より、現在地で事業活動を始め、現在も創業時と同じ所在地で運営しています。現在は小田原市街地の中心地のため、工場敷地の拡大や工場家屋の改築なども願いたい。工業地域内の一部の計画地へ全工場施設を新築移転し、事業活動の近代化と増産を計画致します。	17,605.10	1	事務所加工工場	4,516.58	建築面積：3,901.40㎡ 構造：鉄骨造2階建	・事務所、加工工場の建築物に太陽光発電設備を導入した。（定格出力586.3kWを設置） ・照明灯をLED照明設備とした。	・小田原市開発事業条例で定められている緑化基準並びに工場立地法の緑化基準（導流施設・緑地）25%を上回る緑地帯（緑化面積1,555.67㎡及び環境施設2,889.49㎡）合計4,445.16㎡緑化率25.24%を設置した。 ・建築物周辺には広い空地を設け通風に努めた。 ・地下水を機械冷却水として利用することで設備からの排熱の低減化を図った。 ・舗装工場の屋根に排気ルーフファンφ1050、7箇所を設置し、熱が拡散しやすい位置で排熱した。	・工場への出入口を2箇所に限定し、周辺道路交差点への配慮を行った。 ・工場敷地内に十分な駐車場を設置し、従業員をはじめ、来場者並びに工場活動営業車の境外駐車の実施をした。 ・工場運営時の周辺交通を配し、交通計画を作成した。	・小田原市開発事業条例で定められている緑化基準並びに工場立地法の緑化基準（導流施設・緑地）25%を上回る緑地帯（緑化面積1,555.67㎡及び環境施設2,889.49㎡）合計4,445.16㎡緑化率25.24%を設置した。（再掲） ・開発事業によって生じた埋地・造成法面において在来種（こうらいしば等）を選んで緑化を図った。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを駆行した。										●	586.3	△	●	△コージェネ	・様番号1 総合評価 ★★B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.0以上	・様番号1 総合評価 ★★★B 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 74% ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.0	2022/10/1	2024/2/25	2024/3/26	
						2	鋳造工場	1,825.65	建築面積：1,883.25㎡ 構造：鉄骨造2階建																									
						3	ショット等研研工場	474.68	建築面積：496.18㎡ 構造：鉄骨造平家建																									
						4	危険物倉庫A	8.52	建築面積：8.52㎡ 構造：鉄骨造平家建																									
						5	危険物倉庫B	15.50	建築面積：15.50㎡ 構造：鉄骨造平家建																									
						6	バイク置場	34.92	建築面積：34.92㎡ 構造：アルミ造平家建																									
						7	バイク置場	23.28	建築面積：23.28㎡ 構造：アルミ造平家建																									
						8	渡廊下	8.52	建築面積：8.40㎡ 構造：アルミ造平家建																									
						9	渡廊下	10.4	建築面積：10.40㎡ 構造：アルミ造平家建																									
						10	渡廊下	10.4	建築面積：10.40㎡ 構造：アルミ造平家建																									
						合計			6,928.45																									
003	(仮称)横浜福浦西新築工事	横浜市金沢区福浦3丁目11番4、11番5	横浜福浦特定食料取扱会社 取締役 林 令史	賃貸物流施設の建設	33,487.98	1	倉庫	60,043.06	建築面積：20,663.00㎡ 構造：S造 地上3階、地下一階	・熱源設備において、ヒートポンプ利用設備（ヒートポンプ冷暖房機）を導入した。 ・高効率な冷暖房設備（全熱交換器）を導入した。 ・高効率な照明設備（LED照明）を導入した。 ・太陽光発電設備を導入した。（定格出力2,533.44kW）	・横浜市内開発事業の調整等に関する条例に基づく10%以上の緑化を図った。（緑化面積3,437.18㎡、緑化率10.26%）。 ・高効率な冷暖房設備（全熱交換器）を導入した。 ・高効率な照明設備（LED照明）を導入した。 ・太陽光発電設備を導入した。（定格出力2,533.44kW）	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐車場を整備した。 ・横浜市内開発事業の調整等に関する条例に基づく10%以上の緑化を図った。（緑化面積3,437.18㎡、緑化率10.26%）。 ・荷捌き場を確保した。 ・事業の目的・用途に応じ、必要な駐車スペースを確保した。	・植栽帯、緩衝緑地帯を整備した。 ・横浜市内開発事業の調整等に関する条例に基づく10%以上の緑化を図った。（緑化面積3,437.18㎡、緑化率10.26%）。（再掲） ・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した。 ・エンジン・点検整備、タイヤ、クローラの点検整備を行った。	・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した。 ・エンジン・点検整備、タイヤ、クローラの点検整備を行った。	●	2,533.44	△						●	△コージェネ	・様番号1 【参考】CASBEE横浜による総合評価 A★★★以上	・様番号1 【参考】CASBEE横浜による総合評価 A★★★以上	2022/12/21	2024/2/20	2023/12/11 再エネ活用検討措置の内容	2024/2/6				
004	Weins Town Ebina(仮称)	海老名市新田字二番河原3289番5ほか70番	ウエインズアセット株式会社 代表取締役 宮原 漢二	No.1管理棟、小型コテージNo.2飲食店及び物品販売業を営む店舗、自動車庫No.3物品販売業を営む店舗、自動車修理工場の新築	17,492.24	1	ホテル	326.27	N造 地上1階 1棟 建築面積344.18㎡	・LED照明設備を採用した。 ・建物におけるエネルギー需要の抑制とし断熱化を行った。 ・建物内に於いて自然光を積極的に取り入れるように吹き抜け空間や室内の高い位置に窓（ハイサイドライト）を設けた。	・敷地外周に緑化を実施した。 ・海老名市住みよいまちづくり条例で定められている緑化基準20%を超える緑化を配した。（緑化面積3741.32㎡、緑化率21.38%）。 ・進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線計画を配した。 ・雨水を路面排水に浸透させることにより、兩次流出抑制（下水道への負荷軽減と都市川氾濫抑制）を図った。	・交通流の円滑化として駐車スペースを設けた。 ・駐車台数294台 駐輪台数10台を配した。 ・進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線計画を配した。 ・公共緑地としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・海老名市住みよいまちづくり条例で定められている緑化基準20%を超える緑化を配した。（再掲）（緑化面積3741.32㎡、緑化率21.38%）。 ・公共緑地としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・アイドリングストップを駆行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用した。	△		△				●	△コージェネ	【様番号5】 総合評価 ★★B-以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率90%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア値2.5以上 【様番号6】 総合評価 ★★B-以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率90%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア値2.5以上 【様番号7】 総合評価 ★★B-以上 ヒートアイランド現象の緩和 スコア値1.5以上	【様番号5】 総合評価 ★★★★★A 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率25% ヒートアイランド現象の緩和 スコア値3 【様番号6】 総合評価 ★★★★★B+ 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率89% ヒートアイランド現象の緩和 スコア値2 【様番号7】 総合評価 ★C ヒートアイランド現象の緩和 スコア値2	2022/9/16	2023/9/20	2023/1/1 開発事業者 2023/10/1 用途 延べ面積 建築面積	2023/10/10						
						2*4	ホテル	74.52	N造 地上1階 3棟 建築面積284.84×3=854.52㎡																									
						5	店舗	2,275.21	S造 地上2階 建築面積1877.53㎡																									
						6	自動車庫	2,753.75	S造 地上2階 1棟 建築面積1459.57㎡																									
						7	店舗・自動車庫	2,468.19	S造 地上2階 1棟 建築面積1947.02㎡																									
						合計			7,897.94																									
005	三井不動産ロジスティクスパーク海老名南	海老名市本郷下谷津351番1他22番	三井不動産株式会社代表取締役社長 植田 俊	倉庫業を営む倉庫の新築	18,111.83	1	倉庫業を営む倉庫	37,458.14	建築面積：9,540.67㎡ 構造：鉄骨造地上4階、地下0階	・太陽光発電設備の導入（定格出力528.55kW） ・高断熱建材を用いた建物の断熱化。 ・照明器具については、LED照明を採用。 ・建物の窓ガラスは、遮熱効果のあるLow-Eガラスを採用。（再掲） ・排熱のシャードサーキットの防止。 ・集中リコンにて換気設備、空調設備のスケジュール運転を行い夜間の設備・システム運転を自粛。 ・熱が拡散しやすいよう2階以上の設備バルコニーで排熱。	・海老名市住みよいまちづくり条例で定められている緑化基準20%を超える緑化。（3,809.32㎡、21.0%）（再掲） ・建物の窓ガラスは、遮熱効果のあるLow-Eガラスを採用。（再掲） ・排熱のシャードサーキットの防止。 ・集中リコンにて換気設備、空調設備のスケジュール運転を行い夜間の設備・システム運転を自粛。 ・熱が拡散しやすいよう2階以上の設備バルコニーで排熱。	・駐車場、駐輪場、バイク置場を設置。 ・搬入車両と来客車両の経路を分けて配置した。 ・荷捌き場（トラックパース）、トラック待機場を設置。 ・電気自動車用充電設備（一般車用・トラック用）を整備。（再掲） ・開発区域とその周辺地域の交通を考慮した交通計画。（駐車場台数：72台、（トラック待機場2台、乗用車69台、車いす用1台）パース数：10）	・海老名市住みよいまちづくり条例で定められている緑化基準20%を超える緑化。（3,809.32㎡、21.0%）（再掲） ・低燃費型建設機械を採用。 ・アイドリングストップを駆行。 ・グリーン調達を積極的に実施。									●	528.55	△	●	△コージェネ	・様番号1 総合評価 ★★★★★A+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率85%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア値3以上	・様番号1 総合評価 ★★★★★A 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 45% ヒートアイランド現象の緩和 スコア値3	2022/11/1	2024/3/31	2024/2/13 措置の内容	2024/3/19		
007	(仮称)スーパー ピハホーム湘南 平塚計画	平塚市黒部丘306番5外10番	アークランズ株式会社 代表取締役 坂本 晴彦	商業施設（ホームセンター・家電量販店・スーパーマーケット他）の建築	77,018.60	ホームセンター棟	店舗	55,268.17	建築面積：28,459.92㎡ 構造：鉄骨造地上2階	・自然換気、自然採光を利用する建物設計とした。 ・建築公園を配置した。 ・建物東西軸に伸びた形状とした。 ・メインエントランスに風除室配置した。 ・屋上駐車場による屋根の断熱化を図った。	・屋上緑化、壁面緑化を実施した。 ・搬入車両と来客車両の経路を分けて配置した。 ・建物のシャードサーキットの防止等を図った。	・駐車場・駐輪場を設置した。 ・（再掲） ・開発公園を配置した。（再掲） ・クロカネモグ、ソモコ、カクレミノなどの在来種を選んで緑化した。	・屋上緑化、壁面緑化を実施した。 ・（再掲） ・開発公園を配置した。（再掲） ・クロカネモグ、ソモコ、カクレミノなどの在来種を選んで緑化した。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを駆行した。								●	△コージェネ	・様番号1 総合評価 ★★B+以上 地球温暖化への配慮0.717/1										

番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容						再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況		
					特定開発 事業を 行う区域 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電	太陽熱利用	風力 発電 熱利用	バイオ マス 発電 熱利用	水力 発電	その他					変更届					完了 (中止) 年月日		
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考					定格 出力 (kw)	潜熱 回収 型給湯 器	LED照明 設備	ヒート ポンプ 給湯器	その他 設備※2								
008	(仮称)厚木市三田特定流通業務物流センター計画	厚木市三田字新田2065番2 外45筆	合同会社SHO厚木 代表社員 一般社団法人SHO厚木 職務執行者 福永 隆明	流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律に基づく倉庫(特定流通業務施設)を建設する。この倉庫は流通業務の輸送、保管、荷さばき及び流通加工を一体化に実施できることや、輸送網の集約・輸送網の共同化等の輸送の合理化により、昨今の物流分野における労働力の不足や荷主や消費者ニーズの高度化・多様化に対応する。これにより人荷業務の効率化、出荷作業時間の短縮、荷役コストの削減、ドライバー等労働環境の解消、交通量の削減・CO2の削減による環境負荷の低減などの効果を目的とする。	22,319.19	1	工場・事務所	20,269.41	建築面積: 8,709.42㎡ 構造: S造 階数: 地下0階、地上3階	・太陽光発電設備を導入した。(定格出力: 1,019.52 kW) ・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・積極的にLED照明設備を導入した。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利用設備を導入した。 ・換気は全熱交換機を導入した。	・神奈川県土地利用調整条例審査指針第5節―3により乙地域により、開発区域面積の25%以上の緑地面積が必要であるため、本計画ではそれを超える27.0% (6,027.05㎡)の緑地面積の緑化を行った。 ・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。(再掲)	・自転車利用環境の整備として、駐輪場スペースを40台分設けた。 ・厚木市駐車施設条例により、事業区画内に駐車施設を80台設置した。	・神奈川県土地利用調整条例審査指針第5節―3により乙地域により、開発区域面積の25%以上の緑地面積が必要であるため、本計画ではそれを超える27.0% (6,027.05㎡)の緑地面積の緑化を行った。(再掲) ・改築箇所においては、しらかし、いろはもみじ、やまぼうし等の在来種による緑化を図った。	・残土の場内ストック及び再利用を実施した。 ・アイドリングストップを励行した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	◎	1019.52	△							●	△コージェネ ●高効率空調設備	・棟番号1 総合評価 ★★B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出量 80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	・棟番号1 総合評価 ★★★★★A 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出量 75% ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5	2022/8/15	2023/6/15		2023/5/26
009	Project Seiryu 小田原 Hi-Tech Park新築工事	小田原市国府津字三ツ宮2 7 6 1番 1 ほか 3 筆	Outerspace Development Japan株式会社 代表取締役 リー・チュン・タク	倉庫、事務所の新築	29,239.69	1	倉庫(駐車場合)	30,944.74	建築面積 8,601.98㎡ PCaPC造 地上0階 1棟	・LED照明設備を採用する。 ・建物におけるエネルギー需要の抑制とし断熱化を行う。 ・太陽光発電設備設置(定格出力 270.84kw) ・高効率な冷暖房設備(全熱交換機)を導入する。	・敷地外周に緑化を実施する。 ・小田原市開発事業に係る手続及び基準に関する条例で定められている緑化基準3%を超える緑化を図る。 (1255.00㎡、4.3%) ・雨水を路面下に浸透させることにより、雨水流出抑制(下水道への負荷軽減と都市河川氾濫抑制)を図る	・交通流の内滑化として駐車スペースを設ける。 ・一般車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・倉庫数46台 駐輪台数20台 ・出入口を倉庫所外側周辺交通へ配慮した動線計画とする。	・小田原市開発事業に係る手続及び基準に関する条例で定められている緑化基準3%を超える緑化を図る。 (1255.00㎡、4.3%) (再掲) ・アイドリングストップを励行する。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。	●	280.84	△						●	△コージェネ ●高効率空調設備	・棟番号1 総合評価 ★★B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率60から80% ヒートアイランド現象の緩和 スコア値 2.5以上		2023/4/1	2024/3/31				
010	(仮称)サンインテイルネット厚木市猿ヶ島物流計画	厚木市猿ヶ島字新ノ後186番1ほか41筆	合同会社厚木1号開発 代表社員 サン都市建物株式会社 職務執行者 三田 竜平	流通業務施設(輸送、保管、荷さばき、流通加工、その他の物資の流通に係る業務)の合理化を図る施設を建設する。	29,108.92	1	特定流通業務施設(倉庫)	27,054.03	建築面積: 13,861.95㎡ 構造: RC造・S造 2階	・自然換気、自然採光を利用する建物設計とした。 ・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・南側にオープンスペースを設置をした。 ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を計画した。(25.1%、7,310.89㎡) ・ショートサーキット防止、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・駐車場・駐輪場を設置した。 ・一般車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・倉庫運送からトラック出入庫の台数を想定し、十分な荷捌き数・駐車数を計画した。 ・自転車と歩行者の移動位置を区分するなど、自転車の利用環境を整備した。	・南側にオープンスペースを設置した。(再掲) ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を計画した。(25.1%、7,310.89㎡) ・アイドリングストップを励行した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	△		△					●	△コージェネ	総合評価 B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.5以上	総合評価 A 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 70% ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2023/1/10	2024/9/30	2024/11/18 ・延べ面積 ・建築面積 ・措置の内容	2024/11/19			
011	(仮称)平塚市学校給食センター	平塚市田村9丁目23番地、25番地他	株式会社ひらつか学校給食サービス 代表取締役 山本 徳憲	平塚市内の小学校9,000食/日と中学校6,800食/日を合わせた、最大15,800食/日の調理能力を1棟に集約させた給食センターを建設する計画で、リスクを分散させるために小学校と中学校の調理エリアを分離させた、1棟2場方式の大規模な学校給食センターとする。	16,137.48	1	工場	9,068.87	建築面積: 6,999.18㎡ 構造: 鉄骨造 地上2階	・太陽光発電設備を導入した。(定格出力356.95kW) ・給食センター棟の空調機器には電気式空冷ヒートポンプ式パッケージエアコンを採用した。 ・給食センター棟とフロア室棟の照明器具及び開発区域内の外灯は全てLED照明とした。 ・給食センター棟の事務エリア等の居室の換気には全熱交換器を採用した。 ・給食センター棟については省エネデータ収集設備を設けた。	・平塚市まちづくり条例で定められている緑化基準13.75%を超える緑化を図った。(13.8%、2,228.80㎡) ・敷地内に297本の中木を植栽した。 ・夜間には設備・システム運転を強力運転しないこととした。 ・ボイラー等排熱設備については、排熱位置を建物上部に設置し、通行者等への影響軽減を図った。 ・空地率を56%とし、風の通り道を確保した。	・職員の数に応じた駐輪場を整備した。 ・歩行者が安全に通行できる歩道を整備した。 ・開発区域内の車両の走行ルート指定した。 ・配送車両、回収車両、食材搬入車両それぞれの荷捌き場を確保した。 ・市職員用、調理員用、来客用それぞれの駐車場を確保した。 ・開発区域とその周辺地域の交通を考慮し、一般車両の入口、配送・回収車両、食材搬入車両及びバスの入口、全車両の出口を分散して計画した。	・川と接した敷地東側の敷地境界線に沿って中木を帯状に密集させ、川と生物環境の連続性を保てるよう配慮した。 ・平塚市まちづくり条例で定められている緑化基準13.75%を超える緑化を図った。(13.8%、2,228.80㎡) (再掲) ・開発事業によって生じた裸地・造成法面には平塚市まちづくり条例別表第1記載樹木から選んで(ヒメユズリハ、キンモクセイ、セイヨウカナメモチ、サツキツツジ)緑化を図った。	・低燃費型・省エネルギー型の建設機械等を採用した。 ・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した。 ・建設機械(車両、重機等)を適正整備した。	●	356.95	△					●	△コージェネ ●高効率空調設備	・棟番号1 総合評価 A以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア 2.5以上	・棟番号1 総合評価 A 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率50% ヒートアイランド現象の緩和 スコア 2.5	2023/4/1	2024/6/28	2023/4/3 延べ面積 措置の内容	2024/6/19		
012	桜台団地マンション建設事業(A1ブロック、A2ブロック、B1ブロック、B2ブロック、Cブロック、Dブロック)	横浜市青葉区桜台28番、39番、40番1、40番2、41番1、41番2	桜台団地マンション建設組合 理事長 鈴木 実	1966年竣工の大規模分譲団地の建物・設備の老朽化やバリアフリー上の課題等を受け、団地の再生のために一括建替えを行う(A1ブロック:206戸、A2ブロック:共用施設、B1ブロック:168戸、B2ブロック:109戸、Cブロック:148戸、Dブロック:130戸)。	44,635.66	A-1棟	共同住宅	15,644.28㎡	建築面積: 3,921.85㎡ 構造: RC造一部鉄骨造 地上6階、地下1階	・住宅棟の共用部に積極的にLED照明設備を導入する。 ・B2ブロックに太陽光発電設備を導入する(定格出力11.7kwを予定) (B2ブロック) ・各棟共用部については、熱源設備において、ヒートポンプ冷暖房設備を導入する。 ・電気自動車用充電設備を整備する予定	・都市緑地法第35条第1項で定められている緑化基準10%を超える緑化を図る (A1ブロック: 10.89%・1,550.57㎡、A2ブロック: 11.77%・116.11㎡、B1ブロック: 11.40%・967.64㎡、B2ブロック: 13.62%・910.11㎡、Cブロック: 11.30%・919.58㎡、Dブロック: 11.22%。687.95㎡)。	・駐車場・駐輪場・バイク置場を設置する。 ・電気自動車用充電設備を整備する予定(再掲) ・A2ブロックに自動車の共同利用(カーシェアリング)環境を整備する。	・都市緑地法第35条第1項で定められている緑化基準10%を超える緑化を図る (A1ブロック: 10.89%・1,550.57㎡、A2ブロック: 11.77%・116.11㎡、B1ブロック: 11.40%・967.64㎡、B2ブロック: 13.62%・910.11㎡、Cブロック: 11.30%・919.58㎡、Dブロック: 11.22%。687.95㎡)。 ・開発事業によって生じた裸地・造成法面においては在来種(しらかし・くすのき)を選んで緑化を図る	・アイドリングストップを励行する。	●	11.7	△					●	△コージェネ	・A-1棟 (参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・B-1棟 (参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・B-2棟 (参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・C棟 (参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・D棟 (参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★		2022/9/1	2025/3/31				

番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容							再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況					
					特定開発 事業を行 う区域の 面積 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電										変更届	完了届等										
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考	定格 出力 (kw)	太陽熱利用	大 断熱利用	風力 発電	バイオ マス 発電・ 熱利用	水力 発電	温度 差熱利用	潜熱 回収型給湯 器	LED 照明設備							ヒート ポンプ給湯 器	その他 設備※2				
						機械室	機械室	10.56㎡	建築面積：0㎡ 構造：RC造 地上0階、地下1階																										
						D棟	共同住宅	9,830.79㎡	建築面積：2,639.67㎡ 構造：RC造一部鉄骨造 地上5階、地下1階																										
						バイク置場	バイク置場	12.42㎡	建築面積：7.02㎡ 構造：アルミニウム造 地上1階、地下0階																										
						機械室	機械室	10.56㎡	建築面積：0㎡ 構造：RC造 地上0階、地下1階																										
						合計			61,642.70																										
013	厚木市猿ヶ島物 流計画	厚木市猿ヶ島字 片池1番外61番	合同会社厚木猿ヶ島 代表社員 株式会社 フジタ 職務執行者 荻本 亨	流通業務施設（輸送、保管、荷さばき、流通加工、その他の物資の流通に係る業務）の合理化を図る施設を建設する。	38,400.43	1	特定流通業務施設(倉庫)	36,477.02	建築面積：12,309.26㎡ 構造：RC造・S造 3階	・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・北側にオープンスペースを設置した。 ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。(27.6%、10,628.56㎡) ・シャットサーキット防止や、歩行者空間へ配慮した、排熱設備の設置とした。	・駐車場・駐輪場を必要分設置した。 ・一般車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・倉庫運営からトラック入出庫の台数を想定し、十分な荷捌き数・駐車数を計画した。 ・自転車と歩行者の移動位置を区分するなど、自転車の利用環境を整備した。	・北側にオープンスペースを設置した。 ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。(27.6%、10,628.56㎡) (再掲) ・在来種による緑化を図った。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを励行した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	△	△					●	△コー ジェネ	棟番号1 総合評価 B＋以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.5以上	棟番号1 総合評価 B＋ 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 70% ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2023/3/1	2024/6/30	2024/10/15 ・延べ面積 ・建築面積 ・棟番号 ・措置の内容	2024/10/29							
						2,3	バイク置場	31.20	延床面積：15.60㎡ 建築面積：7.80㎡ 構造：S造 1階 2棟																										
						4	バイク置場	12.60	延床面積：6.30㎡ 構造：S造 1階 1棟																										
						5'8	駐輪場	62.40	延床面積：15.60㎡ 建築面積：7.80㎡ 構造：S造 1階 4棟																										
						9	喫煙所	8.16	建築面積：8.16㎡ 構造：S造 1階 1棟																										
						合計		36,591.38																											
014	(仮称)医療法人 研水会高槻台病 院	平塚市高村高村 203番地21	医療法人研水会 田邊 亨 史	平塚市にて、当該高村団地を「地域医療福祉拠点候補地」として設定し、UR都市機構が「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」と併せて広く事業を募集。医療法人と社会福祉法人が共同にて事業が成立する本法人が、移転新築することを目指すものである。	12,494.04㎡	1	医療施設	10,777.15	建築面積 3,151.73㎡ 構造：RC造 地上4階	・光庭を設け、自然採光の活用を図る ・サッシは複層ガラスを想定し、断熱化を図る。 ・南面を中心にバルコニーを設置し、日射遮蔽に配慮する。 ・照明設備において、発光ダイオード(LED)利用設備を導入する。 ・熱源設備において、ヒートポンプ冷暖房設備及び全熱交換機を導入する。 ・高効率な給湯設備として潜熱回収型ガス給湯器を導入する。	・医療施設の敷地は、平塚市まちづくり条例施行規則第53条にもとづき、敷地内緑化率20%以上を確保する。 敷地面積：2,083.08㎡ 緑化率20.61% ・医療施設は窓上のベントキャップや屋上排気塔を設け、熱が拡散しやすい位置で排熱する。 ・医療施設の敷地は、建築物の見付け面積が小等により、風の通り道を確保する。 ・医療施設の敷地は、緑地や水路、道路等の空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保する。	・前面道路沿いのバス等からの歩行者動線を確保し、歩車分離を徹底する。 ・事業の目的・用途に応じて、駐車場副置義務以上の駐車スペースを確保する。 ・段差を解消した快適な歩道空間を整備する。	・周辺の植栽樹種、および平塚市で推奨される樹種を中心に選定し、地域全体の統一感を図る。 ・資材輸送における距離の最小化を図る。 ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(クスノキ、サルスベリ、アセビ、ヒサカキ)を選んで緑化を図る。	・環境ラベルのついた建設資材等の積極的な利用を図る。 ・資材輸送における距離の最小化を図る。 ・アイドリングストップなどの省エネ運転・機械操作を徹底する。	△	△					●	△コー ジェネ	・棟番号1 総合評価 B＋以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO ₂ 排出率80%以下 ヒートアイランド現象の緩和 スコア値3.0以上 ・棟番号9 未定	2023/3/31	2025/2/28										
						2	物置	11.92	建築面積 11.92㎡ 構造：S造 地上1階																										
						3	給水ポンプ	16.00	建築面積 16.00㎡ 構造：S造 地上1階																										
						4	カーポート	12.50	建築面積 6.00㎡ 構造：S造 地上1階																										
						5	バイク置場	10.90	建築面積 3.13㎡ 構造：S造 地上1階																										
						6	バイク置場	10.90	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																										
						7	駐輪場	16.61	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																										
						8	駐輪場	16.61	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																										
						9	福祉施設	未定	未定																										
						合計		未定																											
015	(仮称)金沢区 並木3丁目計画 東敷地新築工事 (仮称)金沢区 並木3丁目計画 西敷地新築工事	横浜市金沢区並 木3丁目1-1, 2- 5	1. 京浜急行電鉄株式 会社 取締役社長 川俣 幸 弘 2. 京急不動産株式 会社 代表取締役 田中 利 充 3. 相鉄不動産株式 会社 取締役社長 鈴木 正 宗 4. 総合地所株式会 社 代表取締役社長 梅 津 英司	共同住宅の新築	18,411.47㎡ (東敷地 7,139.95 ㎡、西敷地 11,271.52 ㎡)	①	共同住宅 (東敷地)	14,745.48	地上7階/地下0階、RC造 建築面積：2,922.29㎡	・住宅性能評価における断熱等性能等級4を取得した ・住宅性能評価における一次エネルギー消費量等級4を取得した ・住戸に庇(バルコニー)を設置し、日射遮蔽に配慮した ・潜熱回収型給湯器を導入した ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を導入した ・LED 照明設備を導入した	・緑化地域制度に基づいて緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行った(東敷地1,014.84㎡、14.2%/西敷地1,411.60㎡、12.5%) ・地表面の被覆にあたっては、保水性・透水性の高い被覆材・舗装材を利用した ・歩行者空間等へ風を導く建築物の配置、形態とした ・緑地や水路、道路等の空地オープンスペースの連続性に配慮した風の通り道を確保した	・自転車と歩行者の移動位置を区分するなど、自転車の利用環境を整備した ・自転車が利用可能な道路等を設置した ・歩きやすく快適な歩道を整備した ・自動車の共同利用(カーシェアリング)環境を整備した ・共同集配システムを構築した	・緑化地域制度に基づいて緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行った(再掲) (東敷地1,014.84㎡、14.2%/西敷地1,411.60㎡、12.5%) ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(アラカシ、ベニカナメモチなど)を選んで緑化を図った	・アイドリングストップを励行した ・敷地外への土砂の搬出を抑えるため、掘削残土の再利用を行った	△	△				●	●	△コー ジェネ	・東敷地及び西敷地 (参考)CASBEE横浜による総合評価B+	・東敷地及び西敷地 (参考)CASBEE横浜による総合評価A	2023/6/30	2025/7/31	2024/4/8 ・延べ面積 ・建築面積 ・措置の内容	2025/5/8							
						②	電気室 (東敷地)	36.75	地上1階/地下0階、RC造 建築面積：36.75㎡																										
						③～⑤	バイク置場 (東敷地)	25.86	地上1階/地下0階、S造 建築面積：25.85㎡																										
						⑥～⑪	駐輪場 (東敷地)	317.50	地上1階/地下0階、S造 建築面積：161.50㎡																										
						①	共同住宅 (西敷地)	24,063.25	地7階/地下0階、RC造 建築面積：4,486.98㎡																										
						②	ごみ置場 (西敷地)	99.00	地上1階/地下0階、RC造 建築面積：100.95㎡																										
						③	バイク置場 (西敷地)	29.28	地上1階/地下0階、S造 建築面積：29.28㎡																										
						④	ミニバイク置場 (西敷地)	33.50	地上1階/地下0階、S造 建築面積：33.50㎡																										
						⑤～⑧	駐輪場 (西敷地)	499.40	地上1階/地下0階、S造 建築面積：258.20㎡																										
						⑨～⑫	回廊 (西敷地)	56.11	地上1階/地下0階、S造 建築面積：56.11㎡																										
						合計		39,906.12																											

※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

△：検討を行った設備

●：検討を行い、導入を予定している設備

◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備

LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コージェネ：コージェネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。）

EMS：エネルギーマネジメントシステム（エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。）

※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容

再エネ活用検討：再生